

## <柔構造バリア工法>

北B溪流で採用した柔構造バリア工法(インパクトバリア)について説明します。  
この工法は、土砂災害防止施設工の一つであり、大雨等により発生する崩壊土砂の拡散を防止するための柵状の構造物です。

### 特徴

- ① 施工性 : 人力施工が標準、大掛かりな仮設が必要ありません。  
→ 狭く、急勾配な地形でも施工可能です。
- ② 特性 : 地形・地質条件の制約がなく、急崖斜面での設置も可能です。  
→ 土工が必要ありません。
- ③ 工程 : 短期間での対策が可能です。
- ④ 安全性 : 従来の待受け式擁壁と同等の性能が確保できます。
- ⑤ 環境性 : 重機等を使用しません。  
→ Co2排出量を削減できます。

### 構造

- 従来の擁壁とは異なり、構造の柔らかさで崩壊土砂の拡散を防ぎます。
- 硬鋼線を束ねたリングネットで土砂の衝撃を柔軟に受け止めます。
- ブレーキングを設置し、土砂捕捉時の衝撃を緩和します。
- 土砂がネットに溜まり変形した場合でも、土砂を撤去後、部品を交換することで、機能を回復することが可能です。



### 従来工法



### 柔構造バリア工法



### リングネット



1リング毎に取り換えが可能

### ブレーキング



土砂捕捉時、ワイヤーが引張られ、衝撃を緩和

# 恵下埋立地(仮称)建設工事 工事だより

第07号  
(2019年5月)



【当現場内で撮影】

### 【お問い合わせ先】

施工者：大林・洋林・宮川建設工事JV(発行)  
安佐南区沼田町大字阿戸166番地  
TEL(082)-830-4007

発注者：広島市環境局施設部  
恵下埋立地建設事務所  
TEL(082)-923-6011



# <工事進捗状況（平成30年11月～平成31年4月）>

## <現況と今後の予定>

これまでに、余水吐放水路、柔構造バリア工（北B溪流）、土砂災害防止施設工（南A溪流、北DE溪流）などの工事を行いました。現在は防災調整池（掘削・擁壁）、鉛直遮水工、地下水集排水工、土砂災害防止施設工などの工事を進めています。今後も濁水の発生、土砂の流出に注意しながら、工事を進めていきます。

①-1防災調整池（擁壁）



防災調整池（Rブロック）の壁部のコンクリートを打設しています。

①-2防災調整池（掘削）



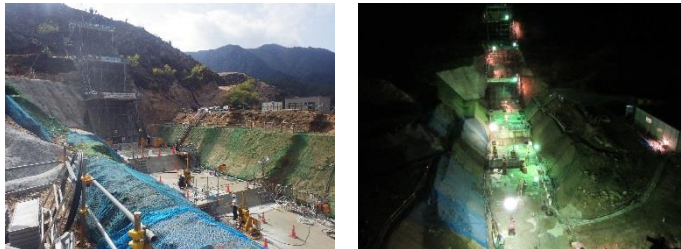
防災調整池構築のために、盤下げ掘削を行っています。

②余水吐放水路



防災調整池の余水吐水路と北パイパス水路を繋ぐ、放流水路を施工しました。

③鉛直遮水工



浸出水の流出を防止する不透水層を構築するため、セメント注入を昼夜間で行っています。

④地下水集排水工



地下水集排水管を設置し、セメント安定処理土で埋戻しを行っています。

⑤法面工



掘削が完了した切土法面に植生基材を吹付けました。

⑥柔構造バリア工（北B）



北B溪流部に堆積した土砂が下流に流出しないよう待ち受け型の土砂止めワイヤーネットの施工しました。

## 第Ⅰ期造成区域



⑦-1土砂災害防止施設工（南A）



南A溪流の土石流を防止する堰堤を施工しました。

⑦-2土砂災害防止施設工（北DE）



北DE溪流の土石流を防止する堰堤を施工しました。